

新市まちづくり計画の策定に係るアンケート調査の結果

《速報》

住民意識調査	・・・・・・・・	1 ページ
中生意識調査	・・・・・・・・	18 ページ

【住民意識調査】

調査の概要

(1) 調査の目的

八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町の1市4町が合併した場合の新市におけるまちづくりの指針となる「新市まちづくり計画」の策定に向け、1市4町の住民を対象に、新市のまちづくりへの意見や提案等についての意向を把握するためのアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町の1市4町にお住まいの15歳以上の方の中から、地域毎に偏りが生じないように配慮しながら、無作為に約12,000名を抽出し、アンケート調査対象者とした。

(3) 調査方法

無作為抽出した住民を対象に、調査票を郵送により配付・回収した。

(4) 調査の時期

調査期間は、平成15年6月上旬から6月末日までの約1ヶ月間とした。

(5) 調査の主な内容

- ・ まちの現状について
- ・ 新しいまちに望む将来イメージについて
- ・ 新しいまちにおいて重点的に取り組むべき施策について
- ・ 新しいまちの運営で留意すべきこと
- ・ 新しいまちづくりへの自由意見

(6) 回収状況

アンケートの回収率は、約42%となっている。各市町別の回収率は、以下のとおり。

回収状況	合計	八日市市	永源寺町	五個荘町	愛東町	湖東町	無回答
配布票数	11,762	2,593	2,223	2,405	2,198	2,343	-
回収数	4,907	902	984	1,025	1,032	901	63
回収率	41.72%	34.79%	44.26%	42.62%	46.95%	38.45%	-

(7) その他

なお、アンケートの集計分析にあたっては、各市町の実居住者数に応じた結果となるよう、以下の補正率を用いて集計分析を行っている。

補正率は、以下のようにして算出している。

補正率	合計	八日市市	永源寺町	五個荘町	愛東町	湖東町	無回答
15歳以上人口	64,814	37,133	5,311	9,712	4,972	7,686	-
補正率	-	2.81	0.47	0.79	0.44	0.64	1.00

《15歳以上全員に配布した場合の全仮想回収数(市町名無回答を除く)》

$$= \{ (\text{各市町の15歳以上人口}) \times [(\text{該各市町の実回収数}) / (\text{該各市町の実配布票数})] \} \dots\dots$$

《15歳以上全員に配布した場合の該各市町の回収数》

$$= (\text{該各市町の15歳以上人口}) \times [(\text{該各市町の実回収数}) / (\text{該各市町の実配布票数})] \dots\dots$$

《各市町の人口比に応じて、11,762票のアンケートを配布した場合の該各市町の仮想回収数》

$$= (\quad / \quad) \times 4,844 (\text{今回調査において市町村名ありの総回収数}) \dots\dots$$

《補正率》

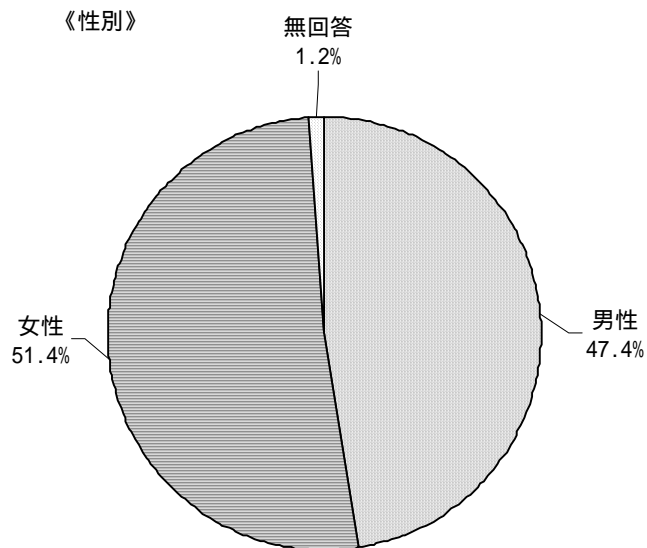
$$= \quad / (\text{該各市町の実回収数})$$

A：あなたご自身について

問1 回答者の性別

回答者の男女比率は、概ね半数ずつとなっている。市町別にみても、若干の違いはみられるものの、概ね半数ずつとなっている。

【1市4町全体の状況】

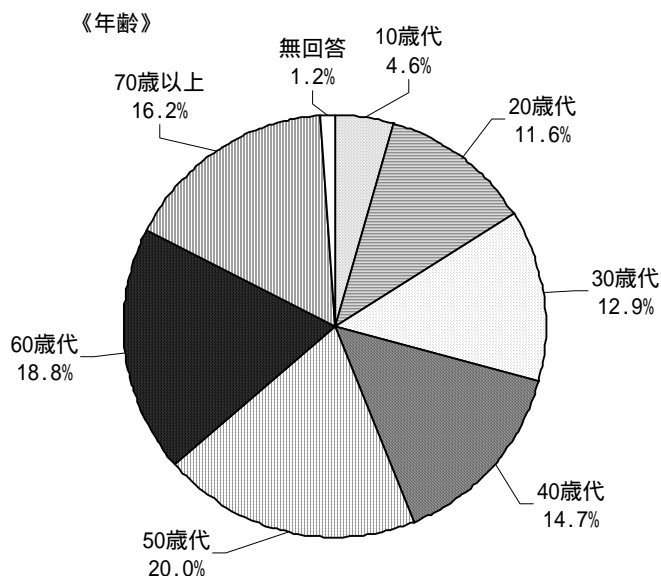


問2 回答者の年齢

回答者の年齢についてみると、全体では、10・20歳代の若年層が約16%、30～50歳代の壮年層が約半数、60歳以上の熟年層が約35%となっている。

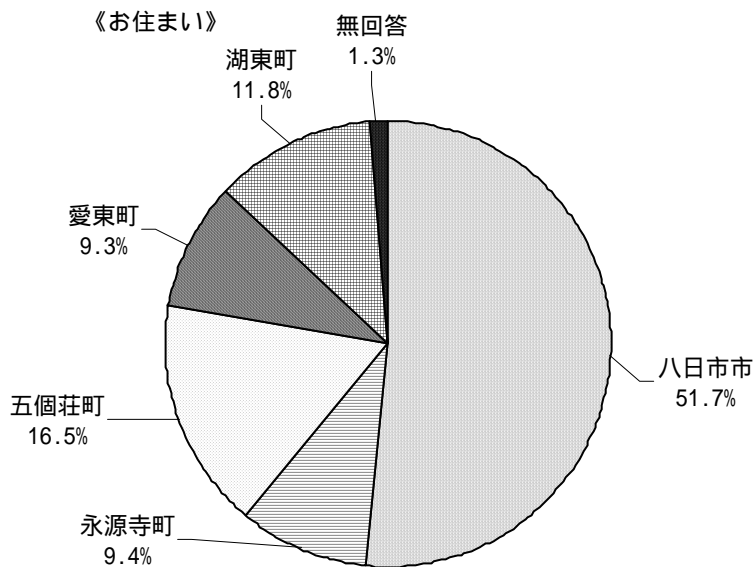
市町別にみると、若干違いがみられるが、概ね同じような年齢構成となっている。

【1市4町全体の状況】



問3 回答者の住まい

回答者の住まいについてみると、約半数は八日市市、約2割が五個荘町、永源寺町、愛東町、湖東町がそれぞれ約1割を占めている。



(参考)

平成12年	15歳以上人口	比率
八日市市	37,133	57.3%
永源寺町	5,311	8.2%
五個荘町	9,712	15.0%
愛東町	4,972	7.7%
湖東町	7,686	11.8%
総計	64,814	100.0%

資料：平成12年国勢調査

B. あなたのまちの現状について

問4 まちの現状について

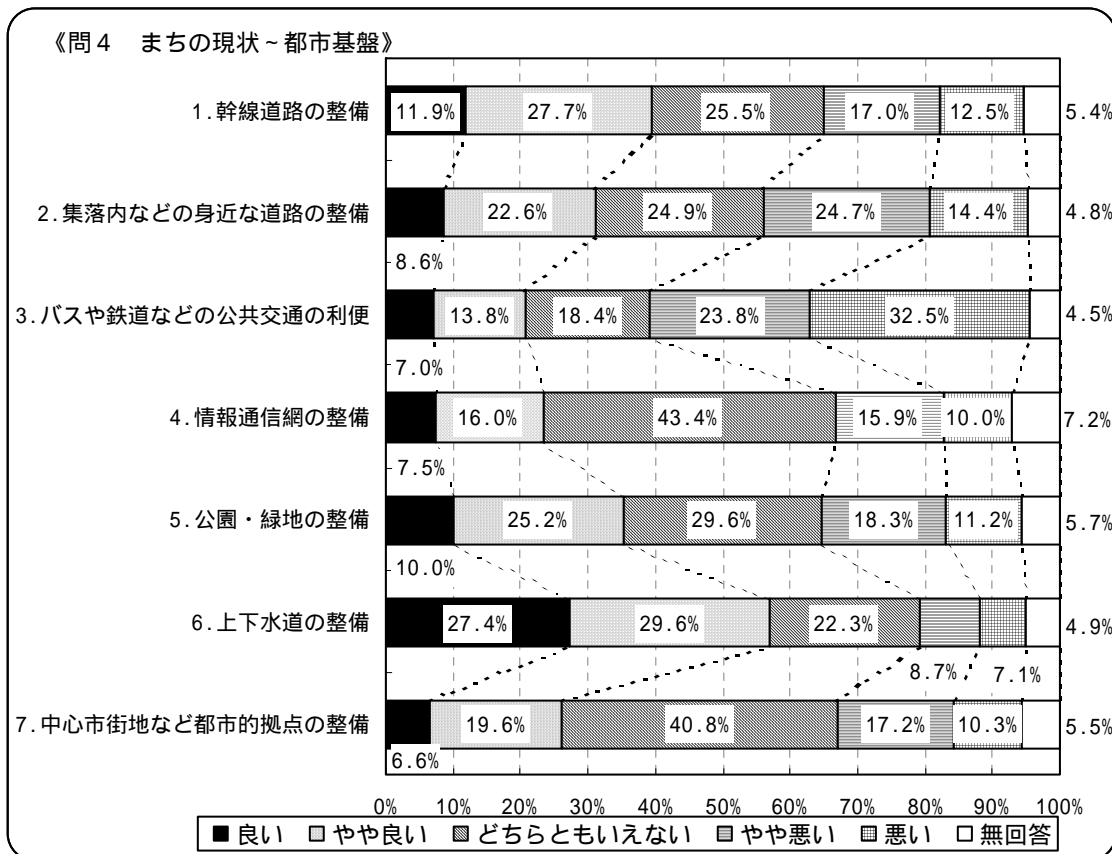
《都市基盤》、《生活環境》、《福祉・保健・医療》、《産業》、《教育・文化》、《住民活動》の6分野30項目のまちの現状について、「良い」、「やや良い」、「どちらともいえない」、「やや悪い」、「悪い」の5段階評価を行ってもらった。

(1) 都市基盤について

都市基盤に対する状況として、《上下水道の整備》は「良い」、「やや良い」と評価している方が多く、あわせて6割近くを占めている。

その他の都市基盤の項目については、「良い」と評価している方が少なく、特に《バスや鉄道などの公共交通の利便》では、「やや悪い」、「悪い」と評価している方が半数以上みられる。

【1市4町全体の状況】



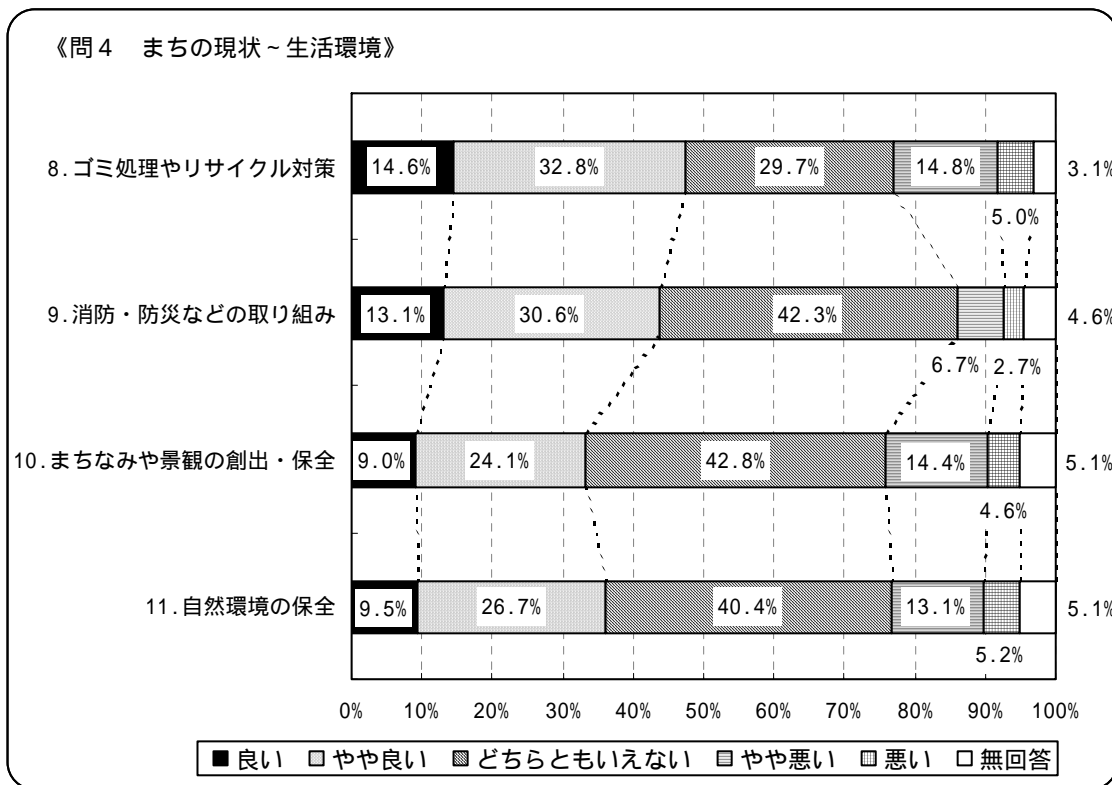
(2) 生活環境について

生活環境においては、全体的に「悪い」、「やや悪い」と評価している方は少ない。

《ゴミ処理やりサイクル対策》については、「良い」、「やや良い」と評価している方が多く、あわせて半数を占めている。

《消防・防災などの取り組み》、《まちなみや景観の創出・保全》、《自然環境の保全》についても「良い」と評価している方が、比較的多くいるものの、「どちらともいえない」と評価している方が4割程度を占めている。

【1市4町全体の状況】

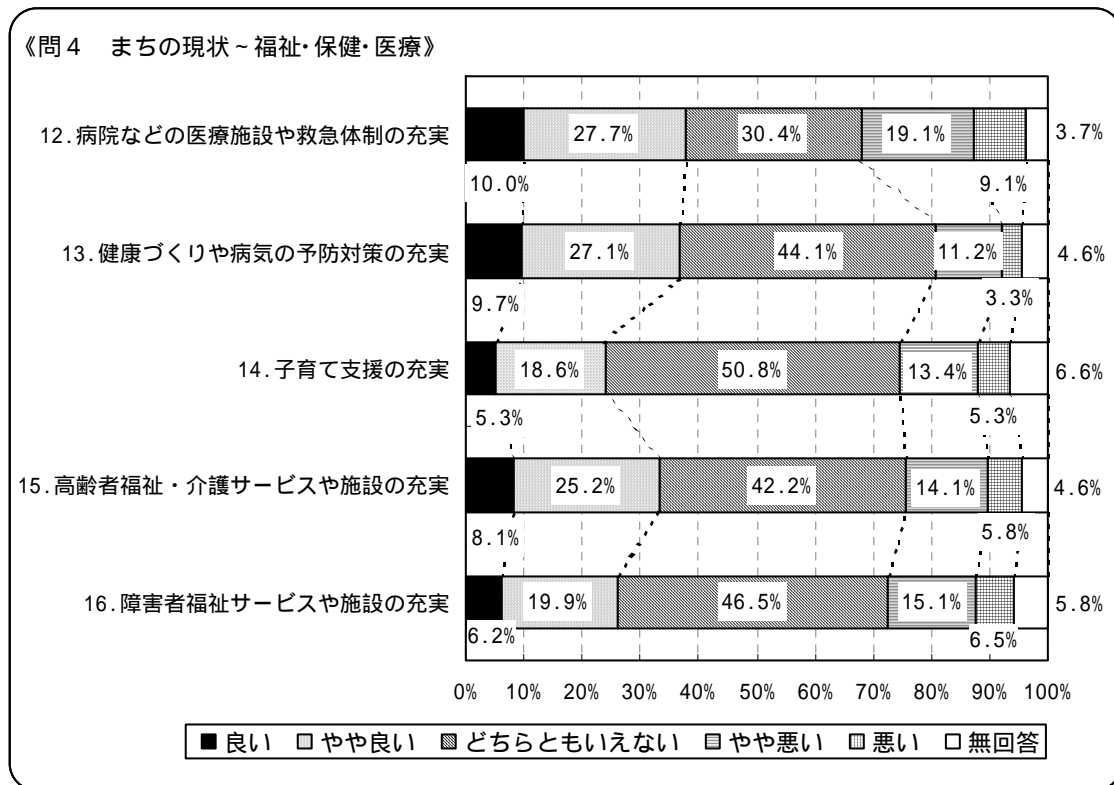


(3) 福祉・保健・医療について

福祉・保健・医療については、全体的に「どちらともいえない」と評価している方が多いが、年齢があがるにつれて「良い」「やや良い」と評価している人が増えている。

《健康づくりや病気の予防対策の充実》については、「良い」、「やや良い」と評価している方が多く、また、「悪い」、「やや悪い」と評価している方は少ない。

【1市4町全体の状況】

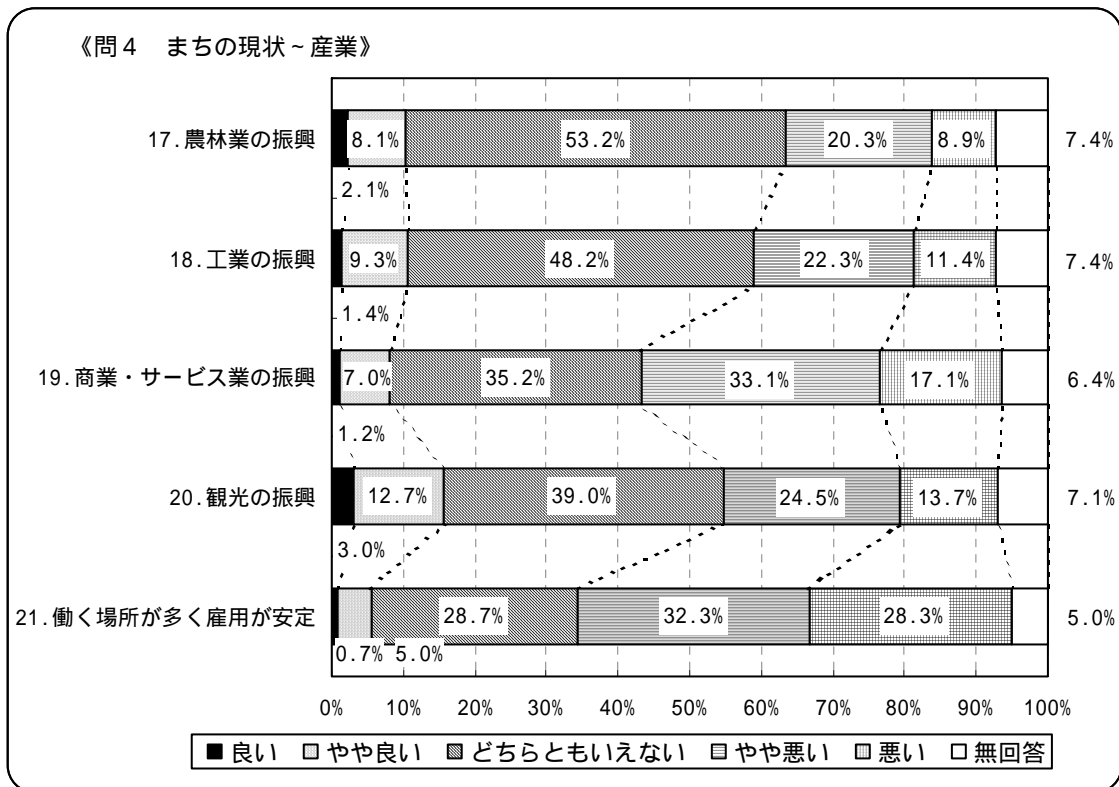


(4) 産業について

産業については、全体的に「良い」、「やや良い」と評価している方があわせて1割程度と少なく、「やや悪い」、「悪い」と評価している方が多くなっている。

特に《働く場所が多く雇用が安定》では、6割の方が「やや悪い」、「悪い」と評価している。

【1市4町全体の状況】

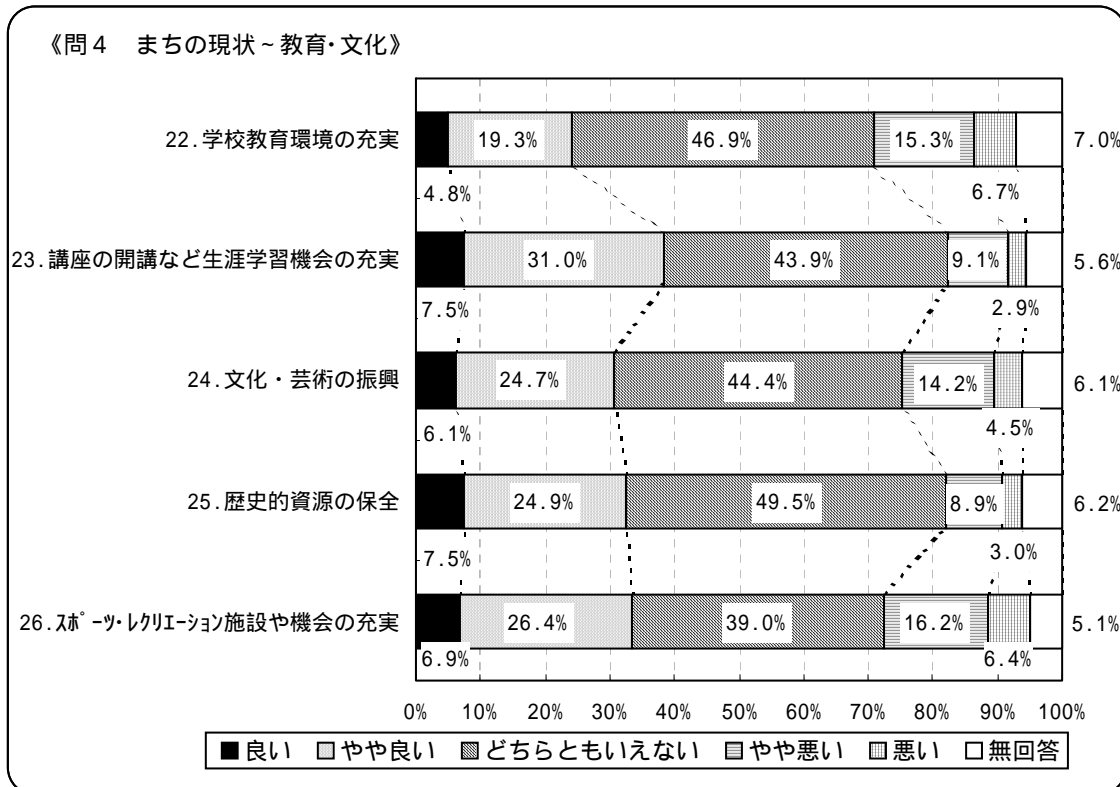


(5) 教育・文化について

教育・文化については、全体的に「どちらともいえない」と評価している方が多くなっており、「良い」、「やや良い」と評価している方は3～4割程度である。

その中でも《講座の開講など生涯学習機会の充実》については、「良い」、「やや良い」と評価している方があわせて4割程度を占め、「やや悪い」、「悪い」と評価している方があわせて1割程度と低くなっている。

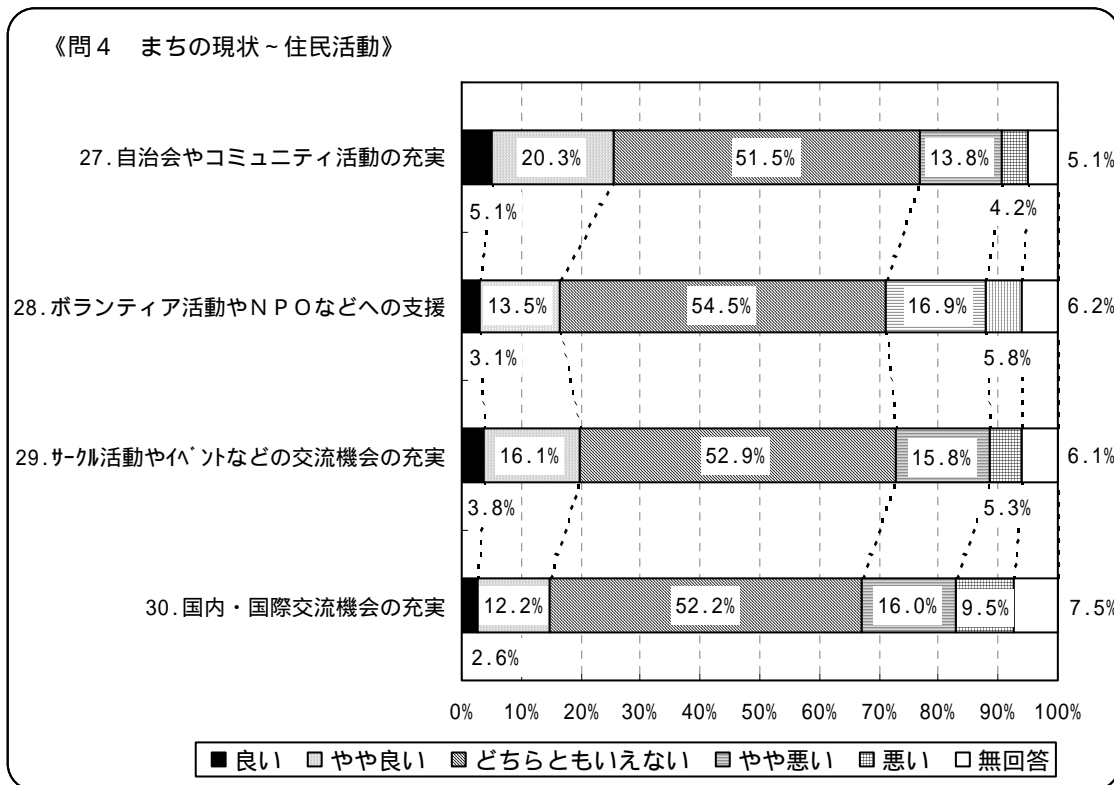
【1市4町全体の状況】



(6) 住民活動について

住民活動については、全体的に「どちらともいえない」と評価している方が半数程度を占めており、「良い」、「やや良い」と評価している方は2割程度と少ない。その中でも《ボランティア活動やNPOなどへの支援》と《国内・国際交流機会の充実》は、「良い」、「やや良い」と評価している方が少なくなっている。

【 1 市 4 町 全体の状況 】



問5 好きな場所や誇りに思うこと、新市になっても活かしていきたいことについて

現在住んでいるまちの《美しい風景や景色など》、《まつりやイベントなど》、《歴史や文化・伝統など》、《特産品や娯楽施設など》について、自由記入を行ってもらった。

なお、この設問に関しては、補正率を用いず回答実数を用いている。

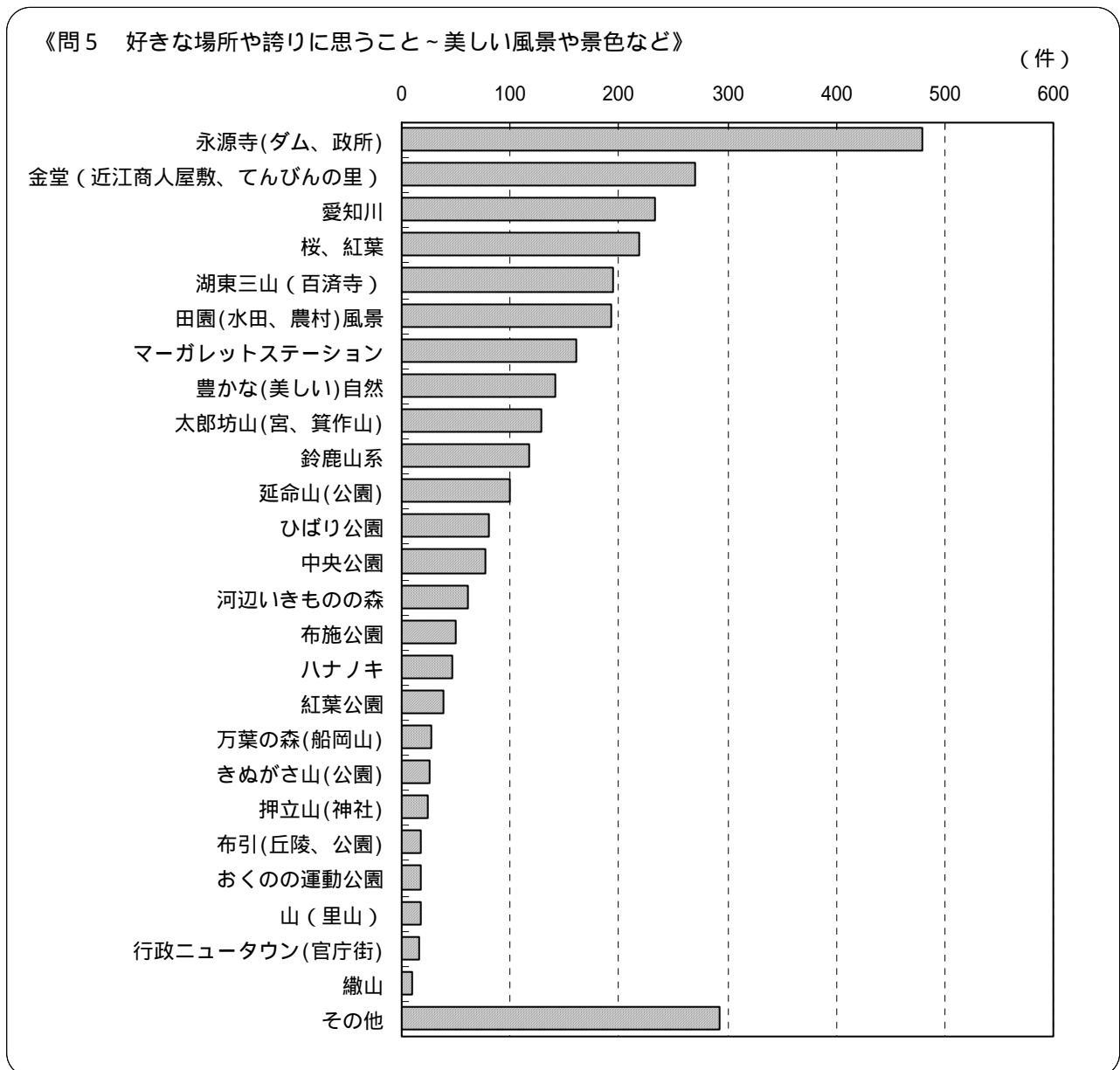
また、自由記述によるため、類似した回答については、その意味によって同じ回答として整理している。

(1) 美しい風景や景色など

美しい風景や景色などでは、永源寺をあげる人が最も多く、次いで金堂、愛知川などが続く。

また、具体的な場所ではなく、桜や紅葉、田園といった特徴も多く挙げられている。

【1市4町全体の状況】

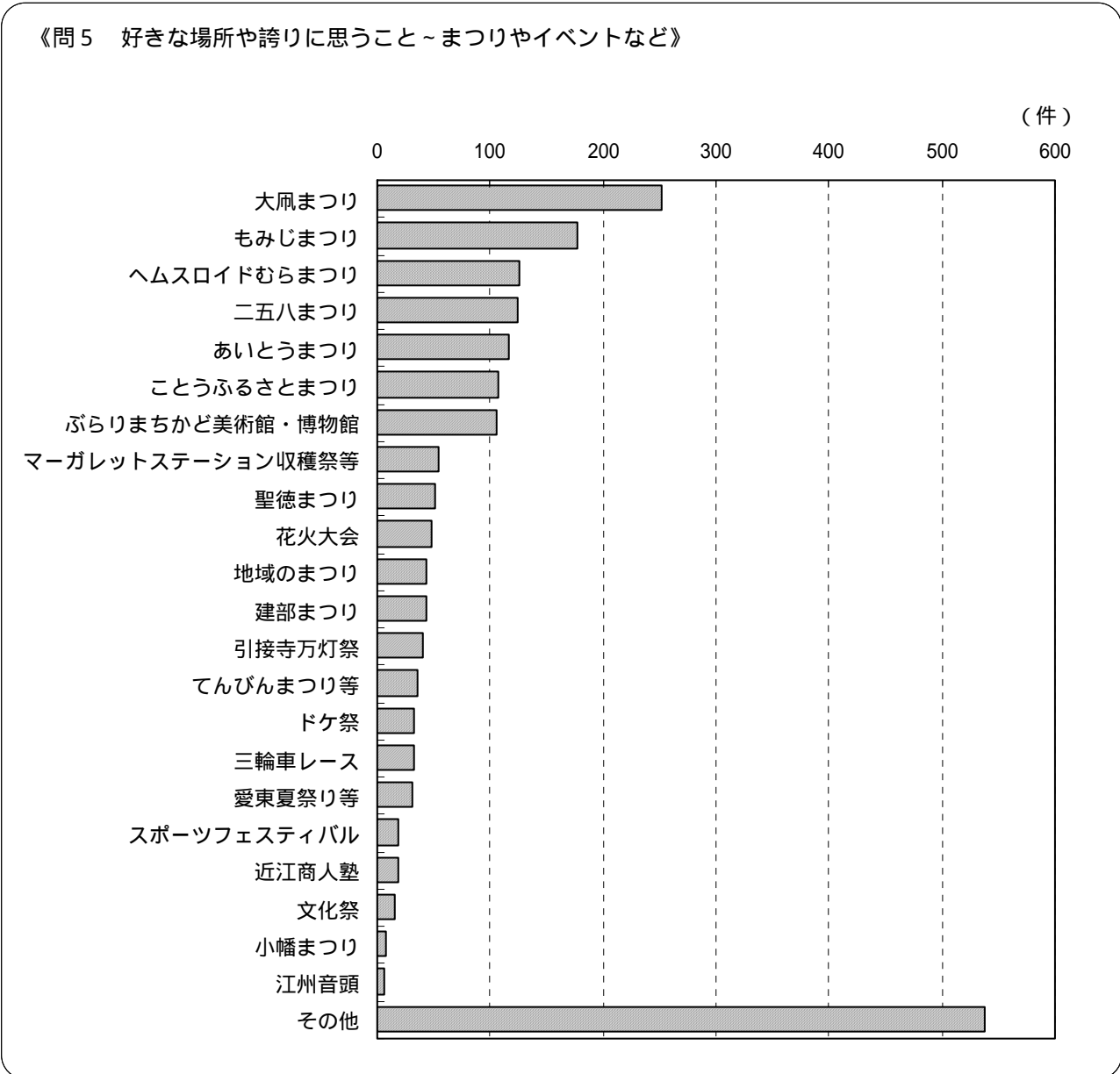


(2) まつりやイベントなど

まつりやイベントなどでは、大夙まつりやもみじまつり、ヘムスロイドむらまつり、二五八まつり、あいとうまつり、ことうふるさとまつりなど、地域それぞれに根付いているイベントが挙げられている。

また、ぶらりまちかど美術館・博物館など歴史資源を活用したイベントや、マーガレットステーションなど、近年、整備された施設で行われている催しなども挙げられている。

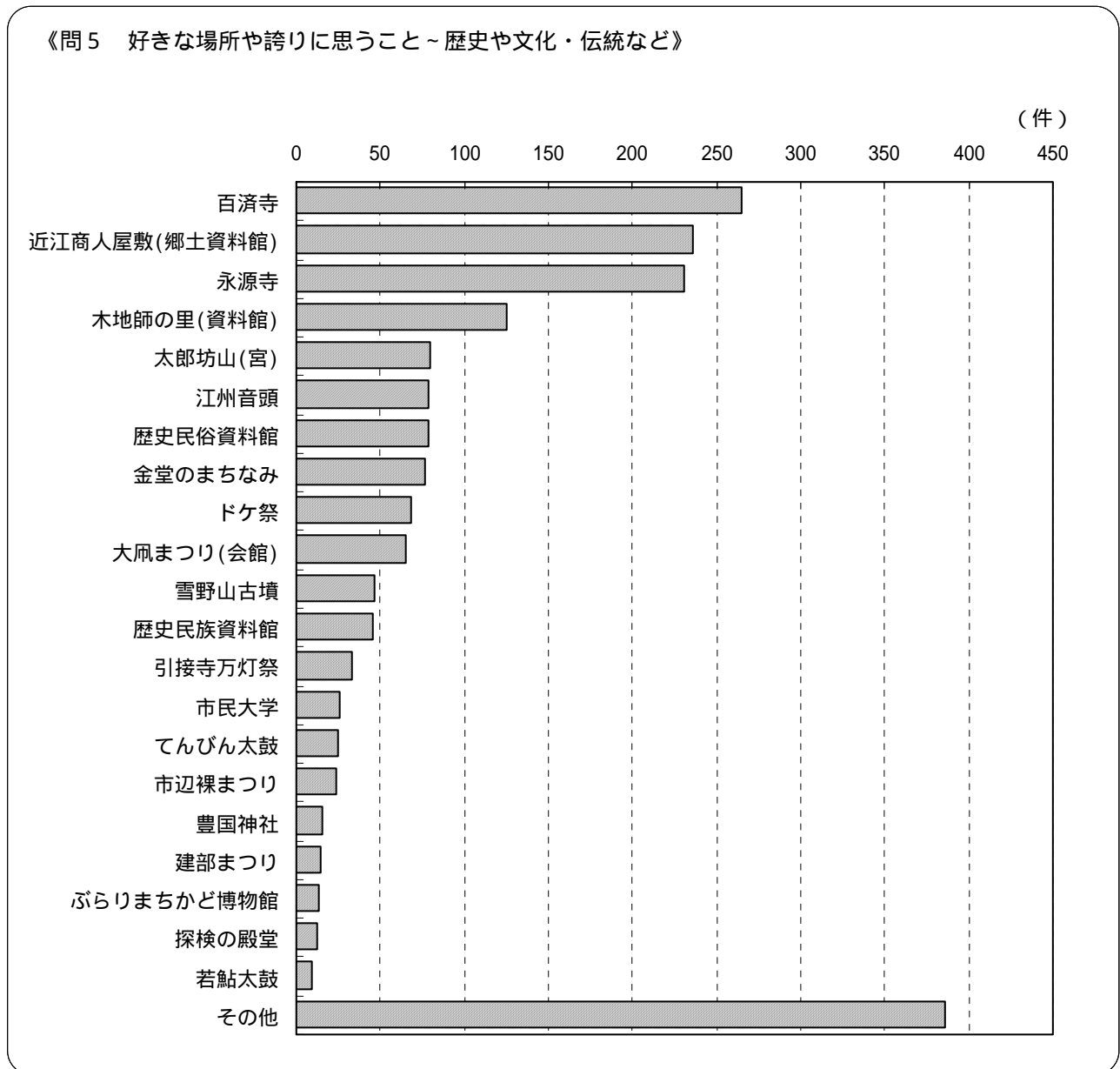
【1市4町全体の状況】



(3) 歴史や文化・伝統など

歴史や文化・伝統などについてみると、百済寺、近江商人屋敷、永源寺など地域の歴史的な場所を挙げる人が多くみられる。

【1市4町全体の状況】



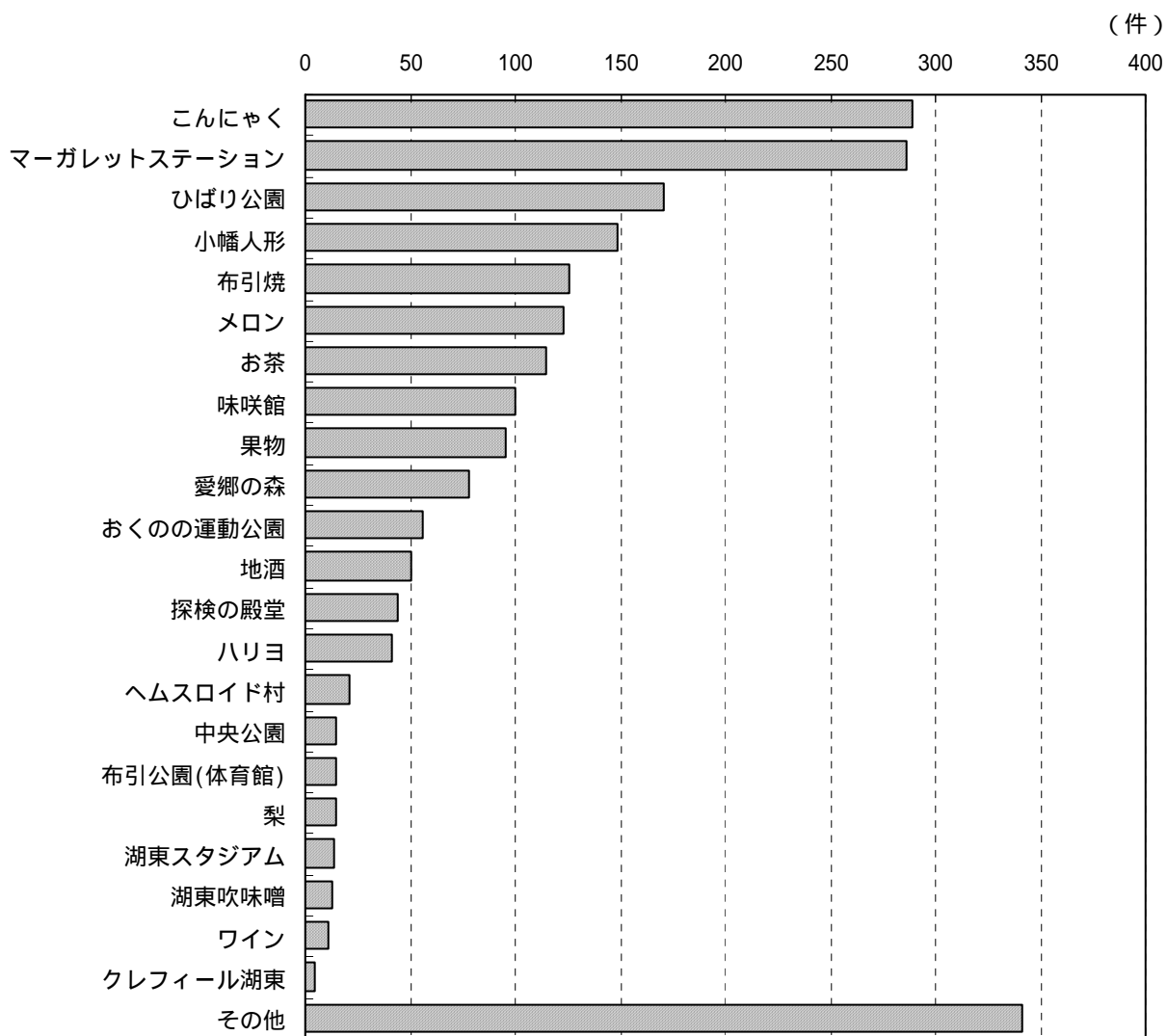
(4) 特産品や娯楽施設など

特産品や娯楽施設などについてみると、特産品では、こんにゃく、小幡人形、布引焼、メロン、お茶、果物が挙げられている。

また、施設としては、マーガレットステーション、ひばり公園が挙げられている。

【1市4町全体の状況】

《問5 好きな場所や誇りに思うこと～特産品や娯楽施設など》



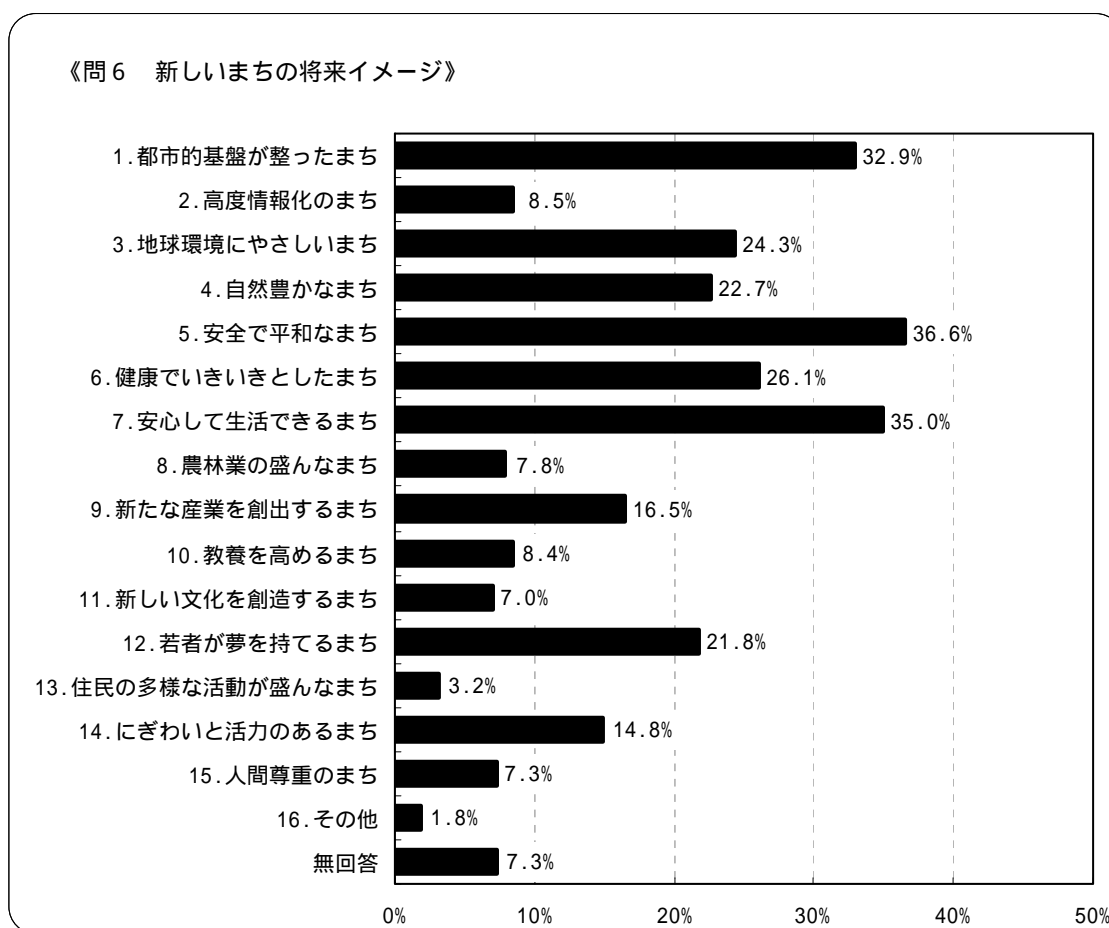
C . 新しいまちに望む将来イメージについて

問6 新しいまちの特徴について

新しいまちの特徴として特に期待するものを、1～16の項目から3つまで選択してもらった。

新しいまちに望む将来イメージについては、《犯罪や事故の防止が徹底され、災害に備えのある、安全で平和なまち》が36.6%で最も多く、次いで《児童・高齢者・障害者などの福祉が充実し、安心して生活できるまち》の35.0%となっている。さらに、《道路や公共交通、公園や上下水道など、都市的基盤が整ったまち》、《医療の充実や健康づくりに取り組む、健康でいきいきとしたまち》と続いている。

【1市4町全体の状況】



D．新しいまちにおいて重点的に取り組むべき施策について

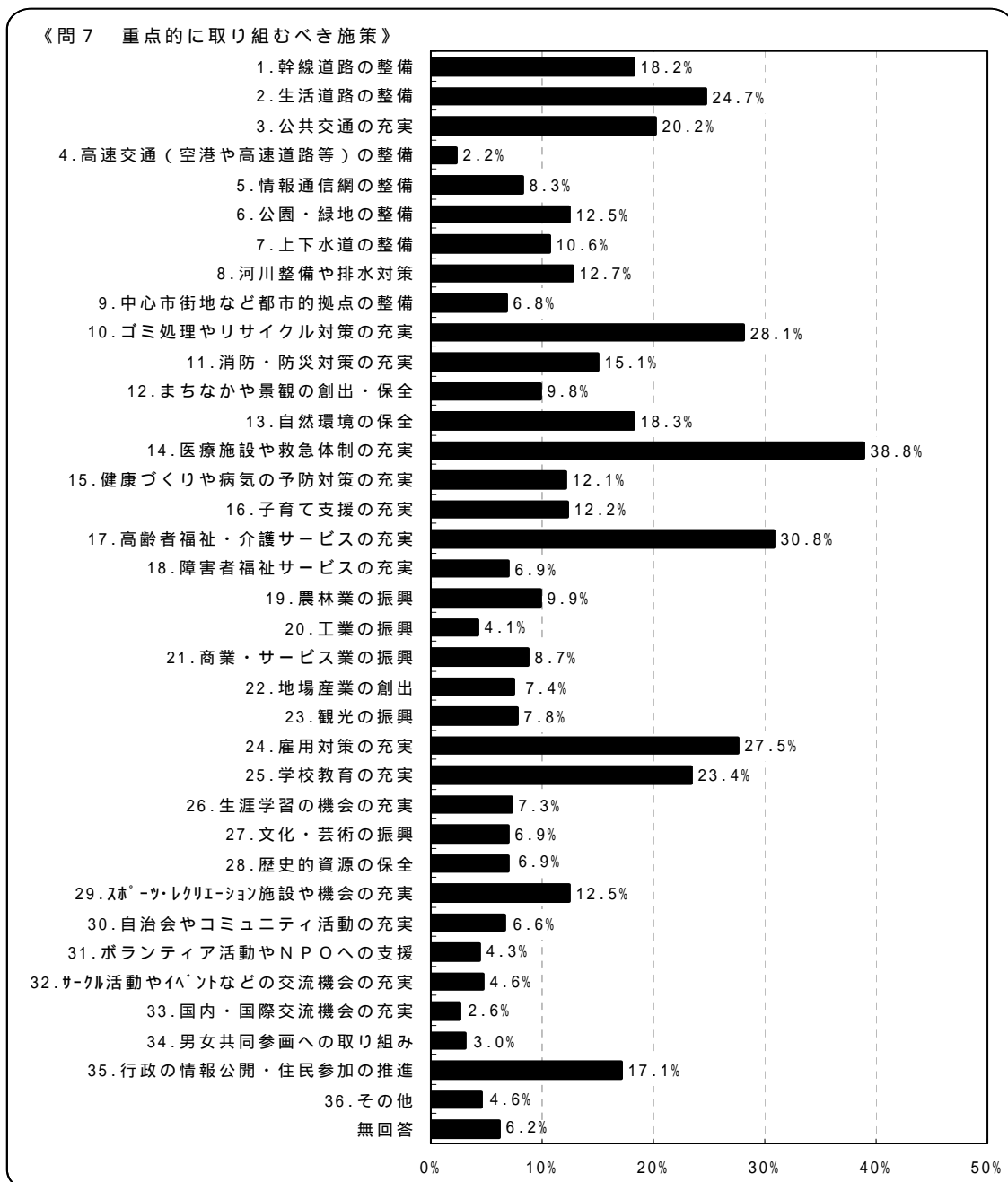
問7 新しいまちで優先的に取り組む施策について

新しいまちで優先的に取り組む施策を、35項目から5つまで選択してもらった。

新しいまちができた時に重点的に取り組むべき施策については、《医療施設や救急体制の充実》が38.8%と最も多く、次いで、《高齢者福祉・介護サービスの充実》30.8%となっており、「福祉・保健・医療」の施策に取り組むことが望まれている。

また、《ゴミ処理やりサイクル対策の充実》の環境面、《雇用対策の充実》の産業面、《学校教育の充実》の教育面、《生活道路の整備》や《公共交通の充実》の都市基盤の面への施策も望まれている。

【1市4町全体の状況】



E . 新しいまちの運営で留意すべきこと

問 8 新しいまちの運営で留意すべきことについて

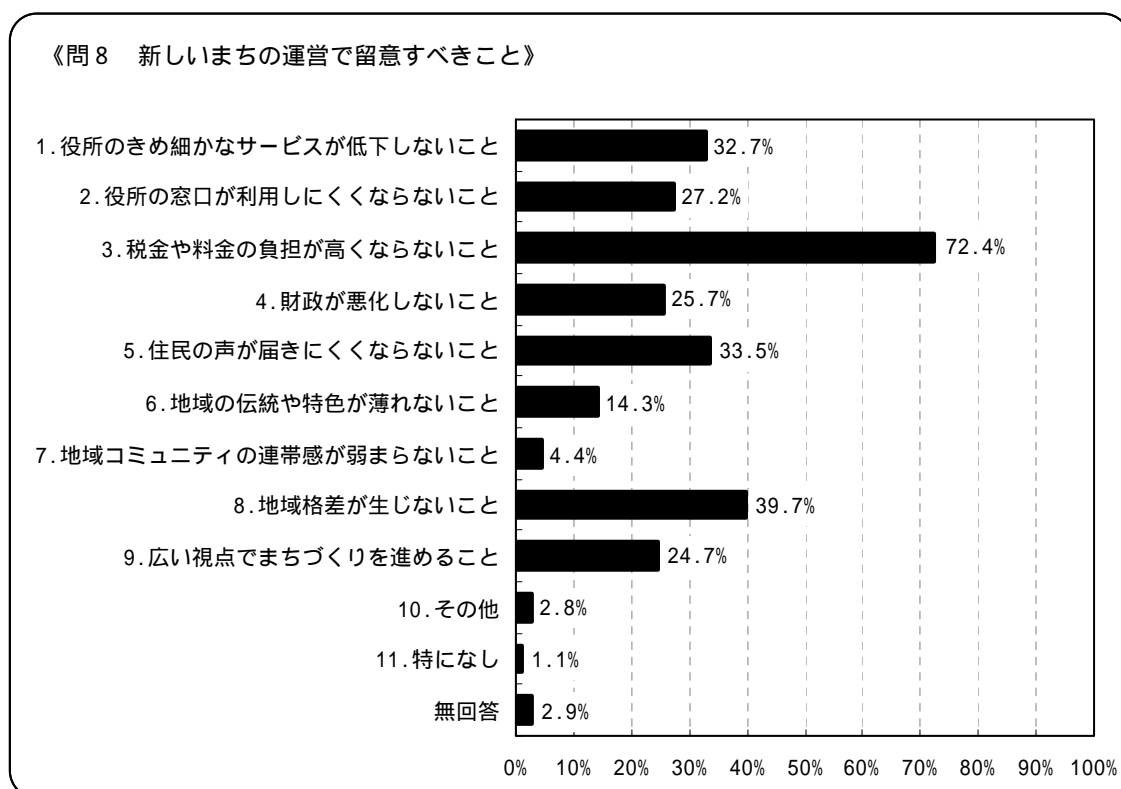
新しいまちを運営していくうえで、特に気をつけなければならないことを、10項目から3つまで選択してもらった。

合併した場合の新市を運営していく上で、特に気をつけなければならないこととして、《税金や料金の負担が高くないこと》を7割以上の方が望んでいる。

次いで、《中心部と周辺部に、地域格差が生じないこと》を4割の方が望んでいる。

さらに、《住民の声が届きにくくないこと》33.5%、《役所のきめ細かなサービスが低下しないこと》32.7%などとなっており、住民の負担が多くなることや、住民へのサービスが低下することへの懸念、住民の声が届かず、地域に格差が生じることなどが無いように新市の運営をしていくことを望んでいる。

【1市4町全体の状況】



F . 新しいまちづくりへの自由意見

問9 新しいまちのキャッチフレーズとイメージカラーについて

新しいまちのキャッチフレーズやイメージカラーを自由記述してもらった。

(1) キャッチフレーズ

キャッチフレーズについては、回答者の約2割が記述している。

提案されたキャッチフレーズを、キーワードで分類すると、<緑>や<自然>といったキーワードを用いたものが多くみられ、<水>と<緑>を組み合わせたものなど、自然環境を重視したものが多い。

また、<みんな>や<誰もが>、<住民>、<市民>など、住民を主体としたまちづくりを目指したもののや、<夢><未来><希望>など将来への希望をキャッチフレーズとしたものも多くみられる。

(2) イメージカラー

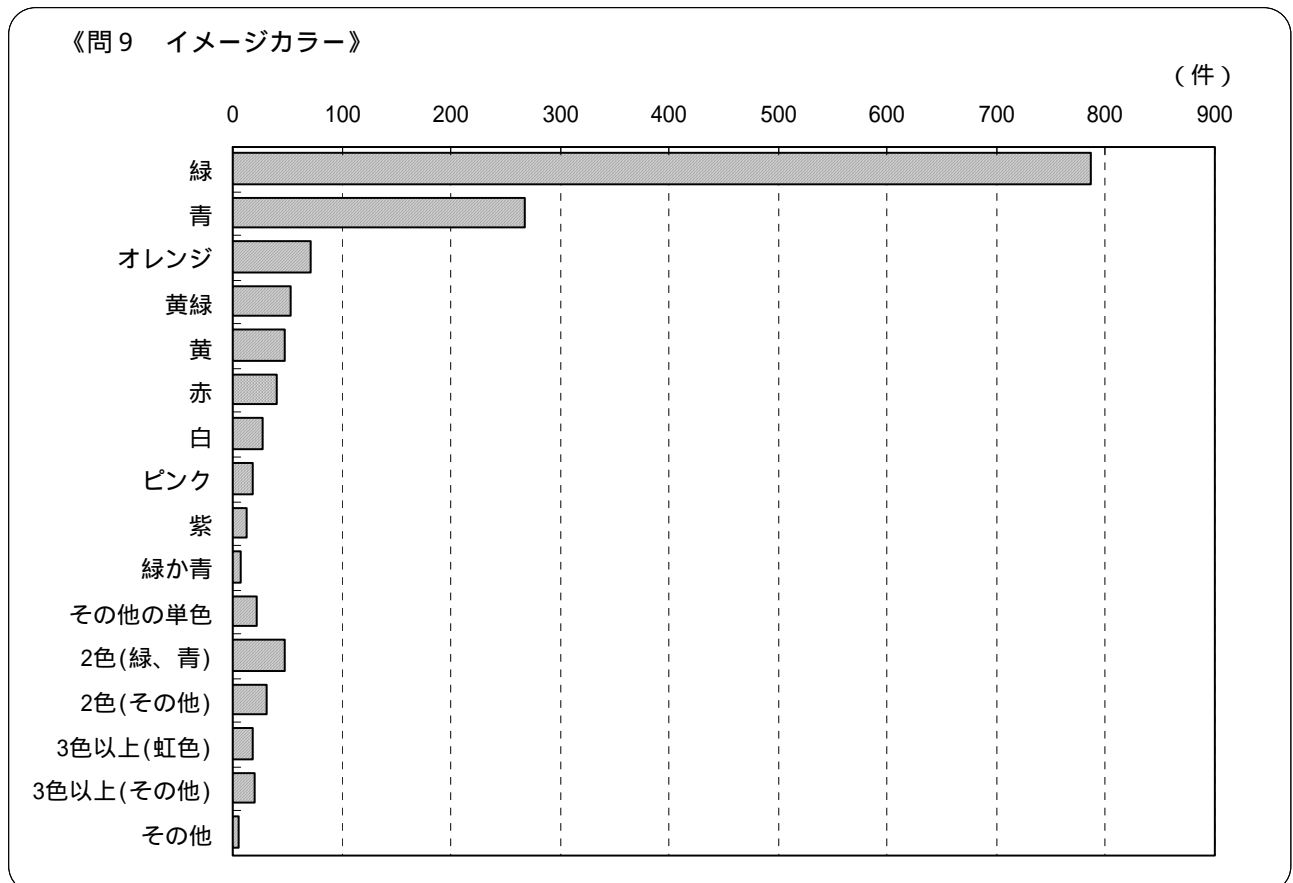
イメージカラーについては、回答者の約3割の記述が得られた。

記述されたものを、以下のように分類すると、圧倒的に緑系統の色をあげる人が多く、記述した人の半数以上は、緑系統を挙げている。

次いで青系統をあげる人が多く、オレンジ、黄緑、黄と続き、単色が大半を占めている。

2色以上では、緑と青の組み合わせが最も多く挙げられている。

【1市4町全体の状況】



【中学生意識調査】

調査の概要

(1) 調査の目的

八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町の1市4町が合併した場合の新市におけるまちづくりの指針となる「新市まちづくり計画」の策定に向け、将来のまちづくりの中心を担う中学生を対象に、新市のまちづくりへの意見や提案等についての意向を把握するためのアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町の1市4町にお住まいの「中学3年生」に該当する年齢の人（昭和63年4月2日から平成元年4月1日に生まれた方）全員をアンケート調査対象者とした。

(3) 調査方法

調査票を郵送により配付・回収した。

(4) 調査の時期

調査期間は、平成15年6月上旬から6月末日までの約1ヶ月間とした。

(5) 調査の主な内容

- ・ まちの現状について
- ・ 定住意向について
- ・ 新しいまちに期待すること
- ・ 新しいまちのイメージ
- ・ 新しいまちづくりへの自由意見

(6) 配布・回収

アンケートの回収率は、全体で32.0%となっている。各市町別の回収率は、以下のとおり。

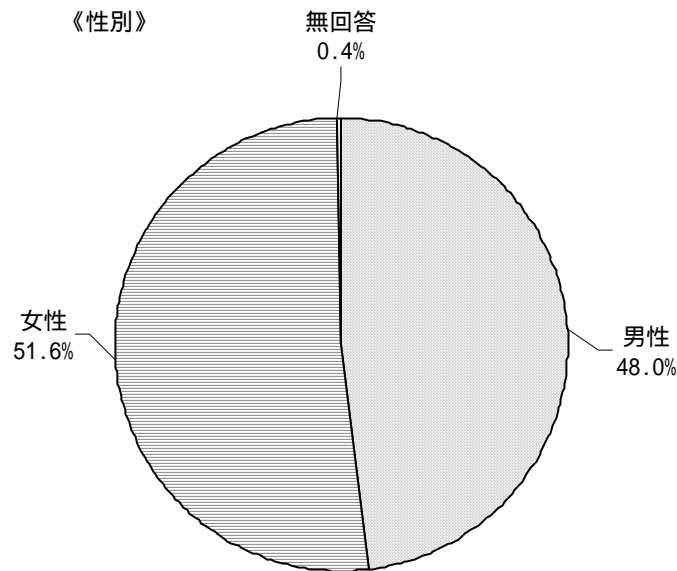
	八日市市	永源寺町	五個荘町	愛東町	湖東町	計
配布票数	493	63	128	79	115	878
回収票数	121	27	51	43	39	281
回収率	24.5%	42.9%	39.8%	54.4%	33.9%	32.0%

A . あなた自身について

問 1 回答者の性別

回答者 281 名の性別は、男性が 135 名（48.0%）、女性が 145 名（51.6%）となっており、男女の比率はほぼ等しくなっている。

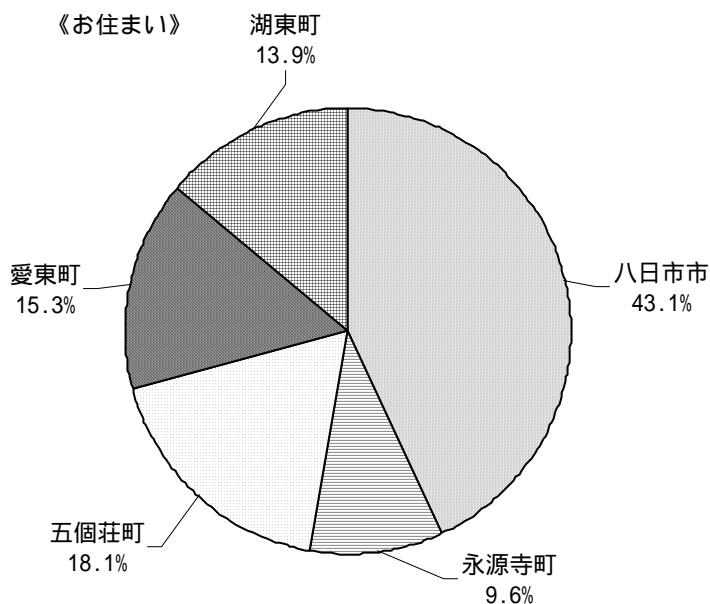
【新市全体の状況】



問 2 回答者の住まい

回答者の住まいは、八日市市の中学生が最も多く、4 割を超えている。次いで、五個荘町（18.1%）、愛東町（15.3%）、湖東町（13.9%）、永源寺町（9.6%）の順となっている。

なお、平成 15 年 5 月における中学 3 年生の生徒数の割合を見てみると、下表のようになっており、アンケートの回答者の割合と比較すると、八日市市の比率は低くなっているが、他町では、比率が高くなっている。



（参考）

平成 15 年 5 月	中学 3 年生の生徒数	比率
八日市市	469	55.1%
永源寺町	64	7.5%
五個荘町	126	14.8%
愛東町	77	9.0%
湖東町	115	13.5%
資総計	851	100.0%

資料：平成 15 年度学校基本調査

B . あなたの住むまちについて

問3 住むまちについての評価

(1) まちの評価

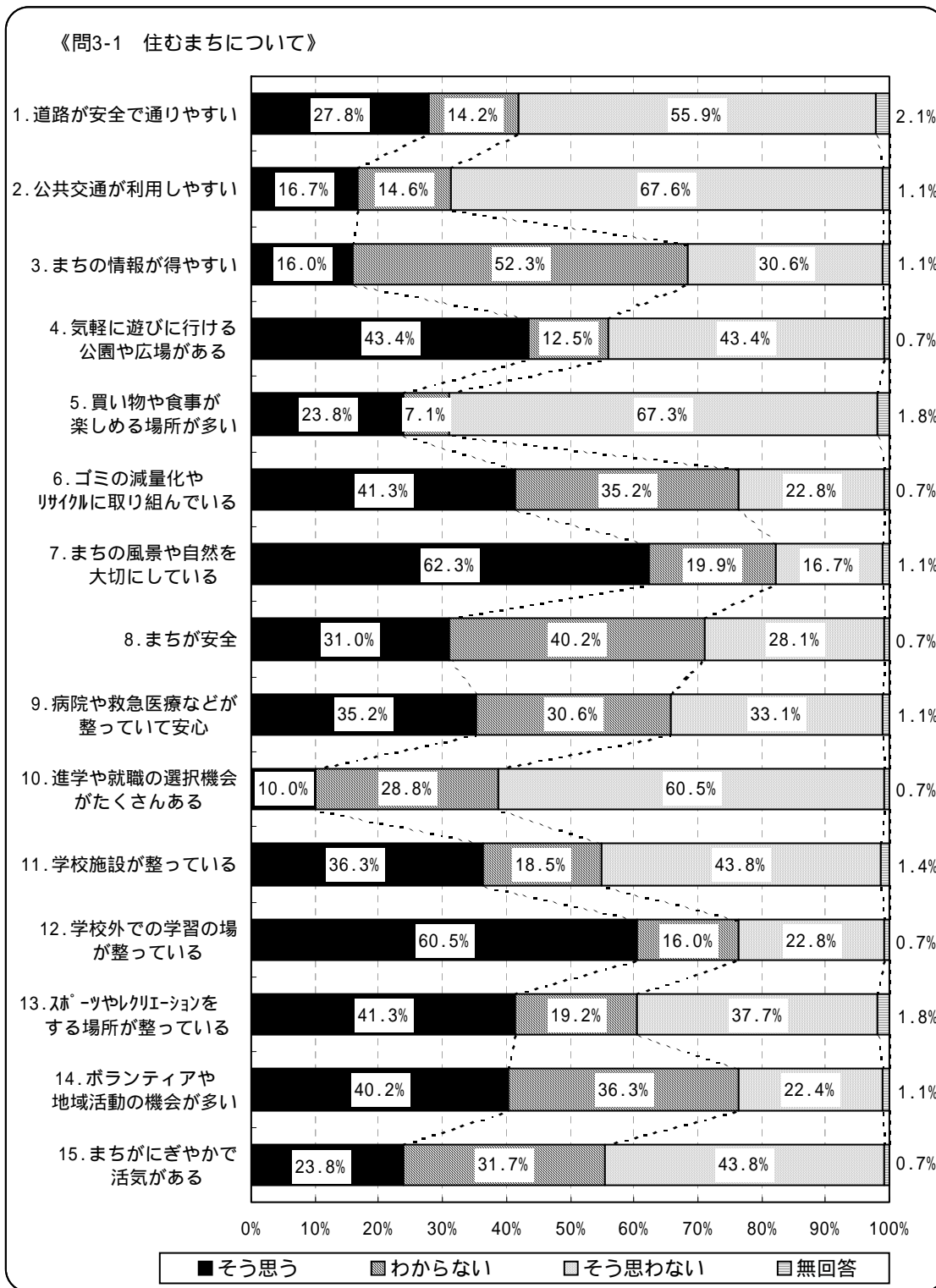
現在住んでいるまちの状況(15項目)について、「そう思う」、「わからない」、「そう思わない」の3段階で評価を行ってもらった。

「そう思う」と高い評価を得た項目は、《まちの風景や自然を大切にしている》が62.3%で最も高く、次いで、《図書館や公民館など学校外での学習の場が整っている》(60.5%)、《気軽に遊びに行ける公園や広場がある》(43.4%)、《スポーツやレクリエーションなどをする場所が整っている》、《環境のことを考えてゴミの減量化や、リサイクルに取り組んでいる》(41.3%)の順になっている。

一方、「そう思わない」と評価した項目は、《バスや鉄道などの公共交通が利用しやすい》が67.6%で最も高く、次いで《買い物や食事が楽しめる場所が多い》(67.3%)、《進学や就職の選択機会がたくさんある》(60.5%)、《通学路などの道路が安全で通りやすい》(55.9%)、《学校施設が整っている》(43.8%)、《まちがにぎやかで活気がある》(43.8%)の順になっている。

このように自然環境や図書館等の公共施設等については評価が高いものの、公共交通や買い物等の利便性や道路の安全性、進学や就職先などについては、評価が低くなっている。

【新市全体の状況】



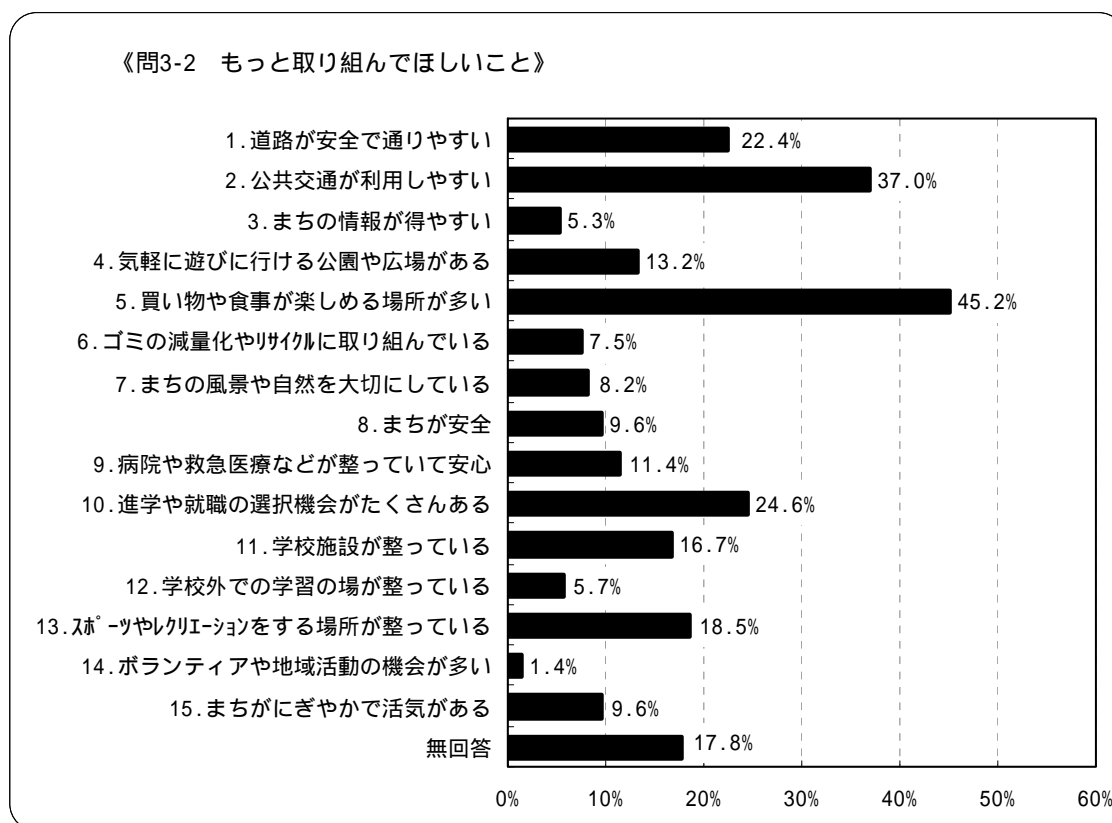
(2) もっと取り組んでほしいこと

まちの状況(15項目)のうち、もっと取り組んで欲しいことを3つまで選択してもらった。

もっと取り組んでほしいこととしては、特に前問で「そうは思わない」と低い評価を得た項目が挙げられている。

その中で、半数近くの方が《買い物や食事が楽しめる場所》を望んでいる。次いで、《バスや鉄道などの公共交通が利用しやすくすること》(37.0%)、《進学や就職の選択機会をたくさん確保すること》(24.6%)、《通学路などの道路が安全で通りやすくすること》(22.4%)を望んでいる。

【新市全体の状況】



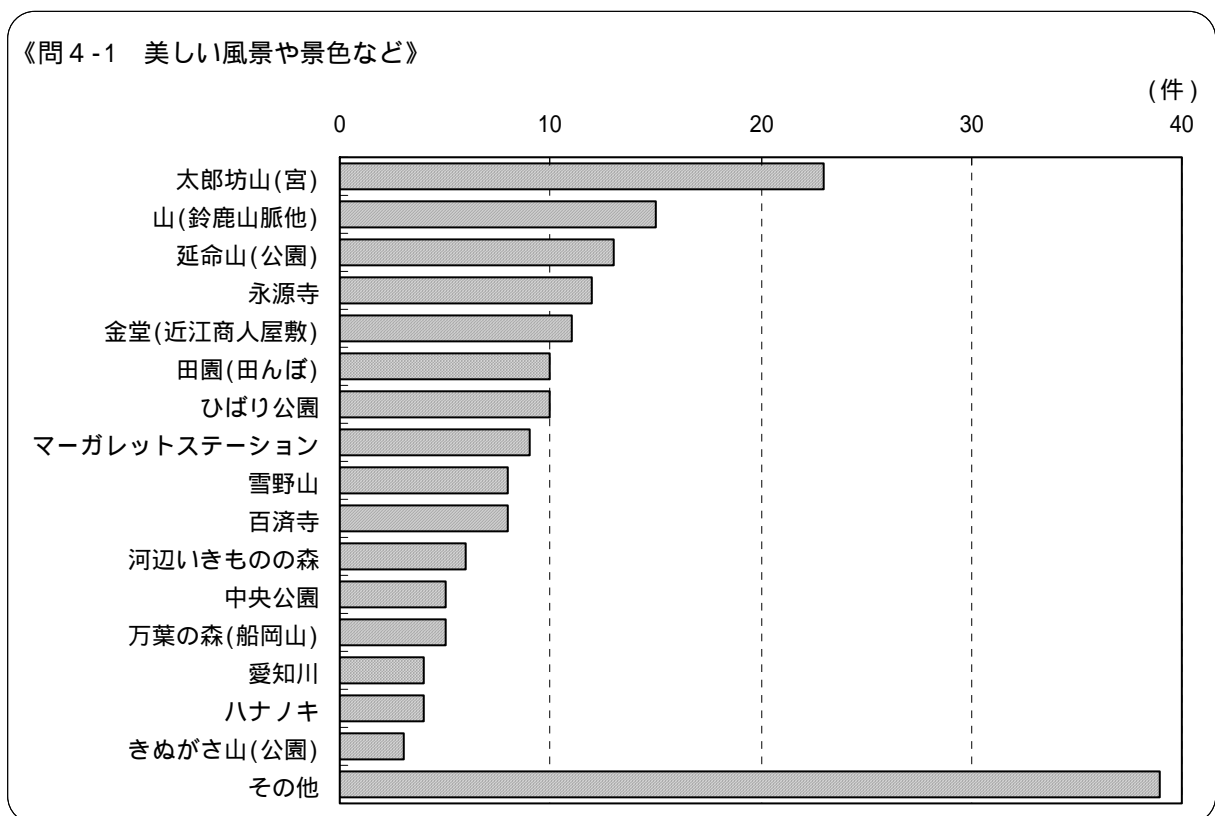
問4 まちの好きな場所や大切にしたいこと

回答者が住んでいるまちの好きな場所や施設、自慢に思うこと、大切にしたいことを、《美しい風景や景色など》《まつりやイベントなど》《歴史や文化・伝承など》《特産品や娯楽施設など》について、自由記入により回答してもらった。

また、自由記述によるため、類似した回答については、その意味によって同じ回答として整理している。

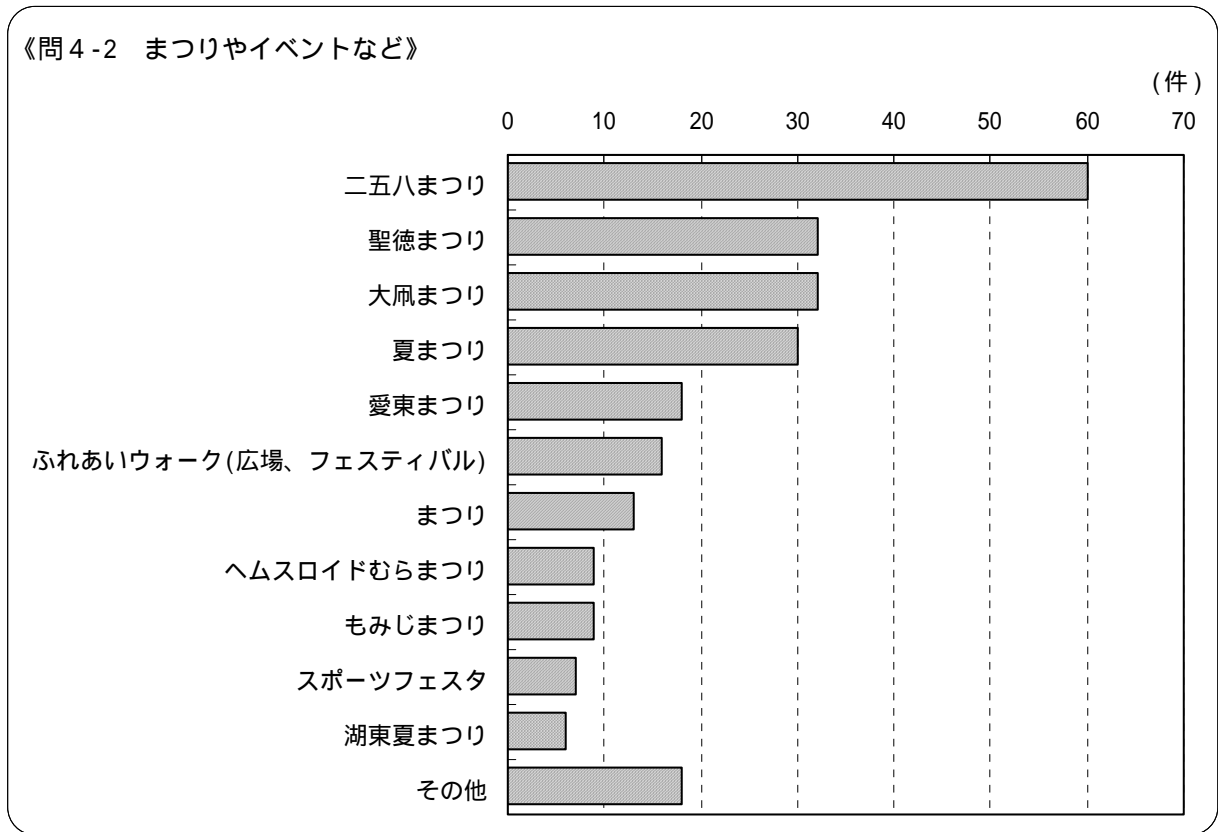
(1) 美しい風景や景色など

美しい風景や景色などについては、太郎坊(宮)、山(鈴鹿山脈他)、延命山(公園)など、山に関する回答が多くみられた。



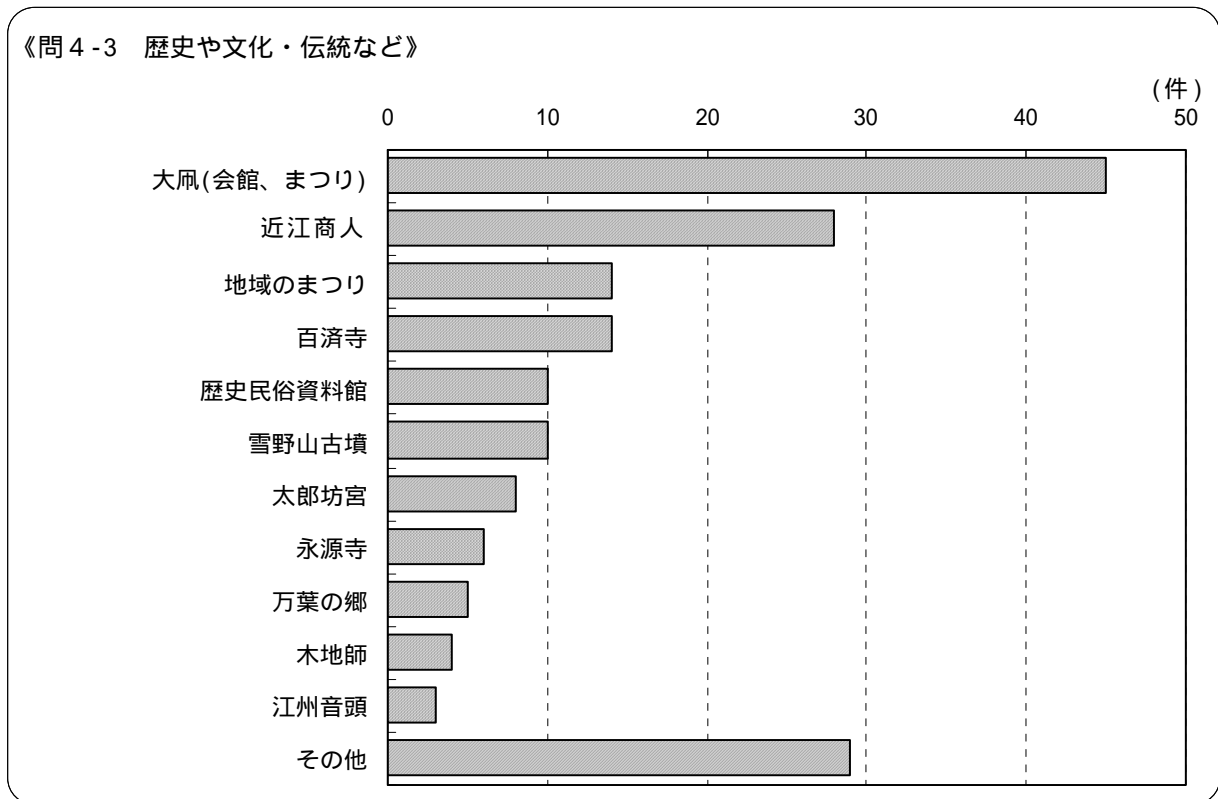
(2) まつりやイベントなど

まつりやイベントなどについては、^{にこほち}二五八まつりがもっとも多く、そのほか地域のイベントが多くみられる。



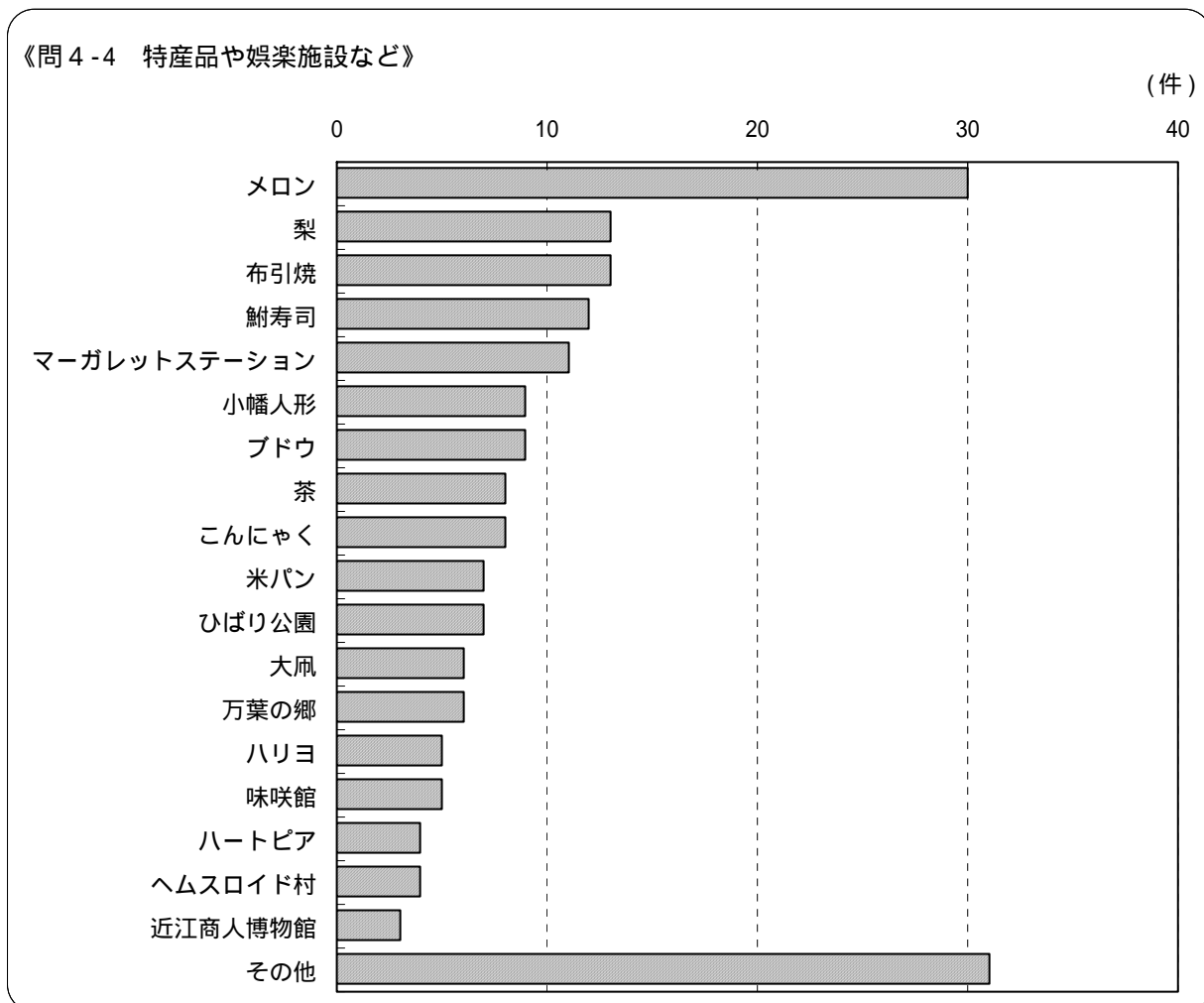
(3) 歴史や文化・伝統など

歴史や文化・伝統などについては、大侃と近江商人が多くみられた。



(4) 特産品や娯楽施設など

特産品や娯楽施設では、メロンが最も多く、そのほか梨、ブドウ、こんにゃくなどのほかマーガレットステーションが挙げられており、農産品の回答が多くみられる。そのほか、布引焼や小幡人形、鮎寿司など、伝統的なものについても多くの回答が得られている。



問5 . 定住意向等について

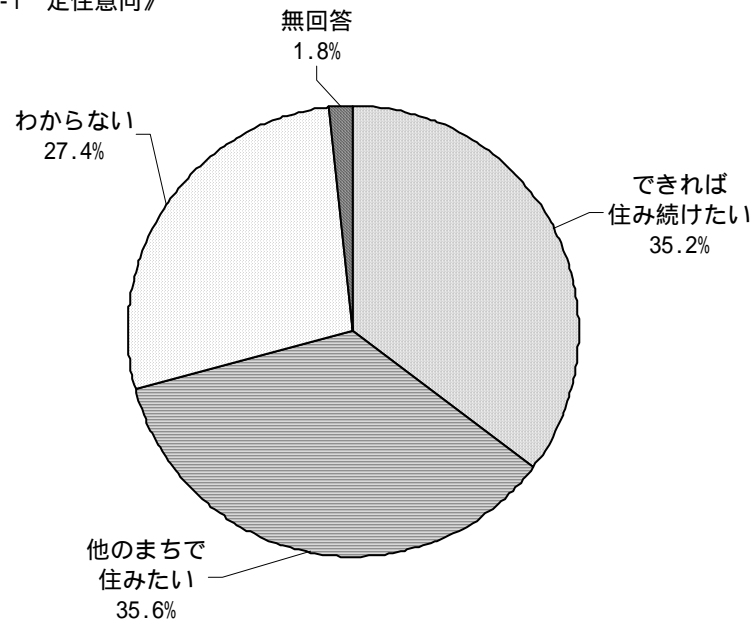
(1) 定住意向

将来の定住意向について、《できれば住みたい》《他のまちで住みたい》《わからない》から選択してもらった。

将来にわたって、今住んでいるまちに住み続けたいかの問に対して、《できれば住みたい》が35.2%（99人）、《他のまちで住みたい》が35.6%（100人）と、ほぼ同数になっている。

【新市全体の状況】

《問5-1 定住意向》



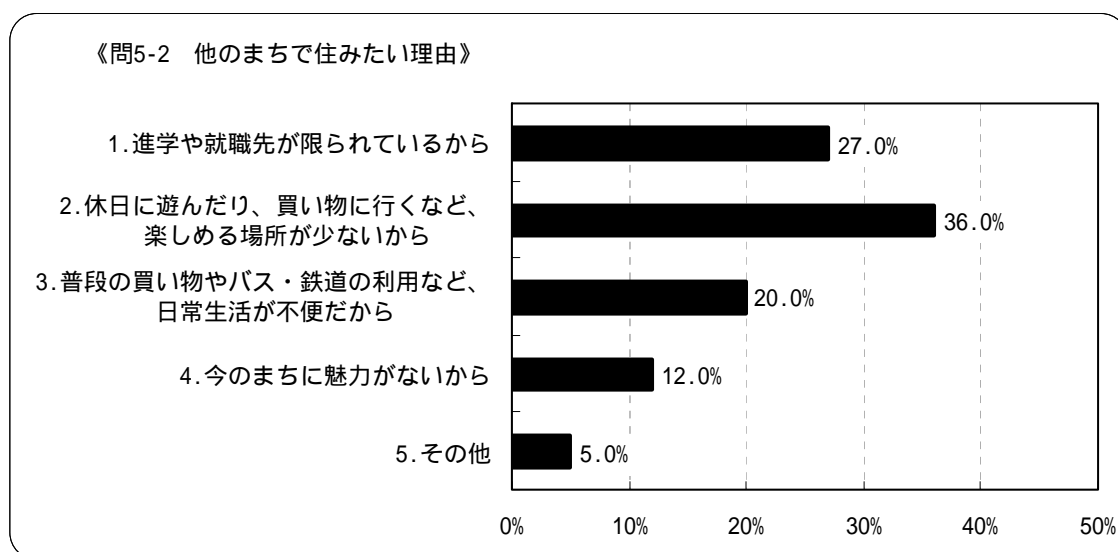
(2) 他のまちで住みたい理由

《他のまちで住みたい》と答えた人に、その理由を選択してもらった。

前問で、「他のまちで住みたい」と回答した100名の方の理由については、《休日に遊んだり、買い物に行くなど楽しめる場所が少ないから》が36.0%で最も多く、次いで、《進学や就職先が限られているから》(27.0%)、《普段の買い物やバス・鉄道の利用など、日常生活が不便だから》(20.0%)と続いている。

このように、定住化の促進に向けては、まちのにぎわい、生活・交通の利便性や進学・就職先の確保などが課題となっている。

【新市全体の状況】



C. 新しいまちに望むことについて

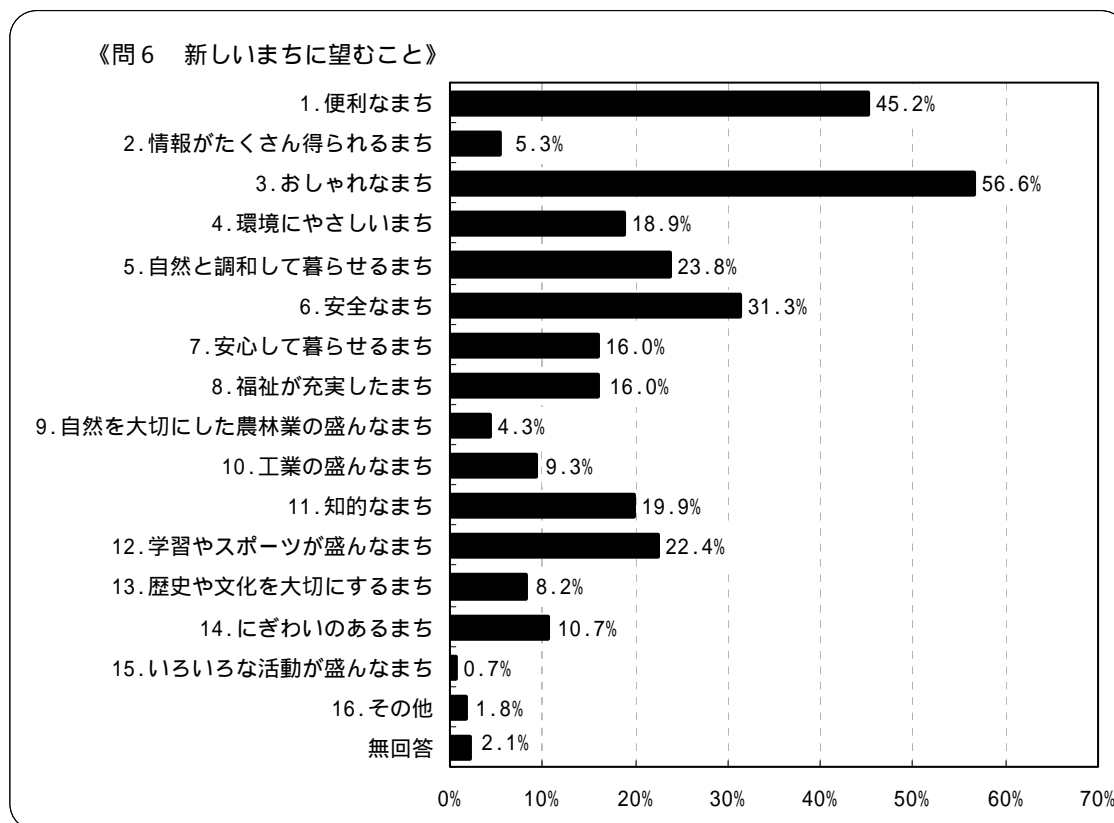
問6 新しいまちに期待すること

新しいまちが、どのようなまちになることを期待しているか、16項目から3つ選択してもらった。

「ずっと住み続けたいまち」にするために、56.6%と半数以上の方が《買い物や食事を楽しめる場所の多いおしゃれなまち》を望んでいる。

次いで、45.2%と半数近くの方が《道路や公園などが整備され、バスや鉄道などが利用しやすい便利なまち》を望んでいる。

【新市全体の状況】



問7 新しいまちのイメージ

(1) キャッチフレーズ

新しいまちのキャッチフレーズを自由記入により回答してもらった。

キャッチフレーズをキーワードで整理すると、《緑》《自然》をキーワードとしたキャッチフレーズが半数近くを占めている。

地域の自然環境を重視したキャッチフレーズのほか、歴史や伝統など、地域の特性を活かし、生活環境を充実する方向性のキャッチフレーズが多くみられる。

(2) イメージカラー

新しいまちのイメージカラーを自由記入により回答してもらった。

イメージカラーについては、大半が単色で占められており、《緑》と答える人が突出して多く、次いで青、オレンジなどと続いている。

